

8/9 木

中国、日本の機密網に侵入

【ワシントン＝時事】米紙ワシントン・ポスト（電子版）は7日、中国人民解放軍のハッカーが日本の防衛省の最も機密性の高い情報を扱うコンピューターシステムに侵入していたと報じました。2020年秋に米国家安全保障局（NSA）が察知し、日本政府に伝達しました。

「米が20年に伝達」と米紙

は「日本の近代史上、最も有効なハッキング」となりました。元米軍高官は「衝撃的なほどひどかつた」と語ったといま

す。

報道では、米政府は20年秋、当時のポットマンジャー大統領副補佐官（国家安全保障担当）と米サイバー軍司令官を兼務するナカソネNSA局長が東京を訪問し、日本の防衛省首脳に直接、こ

の侵入について伝えました。防衛省首脳はこれを懸念し、首相にも警告するように手配しました。

ただ、日本側のサイバーハッキングは、前政権からバイデン政権に移行し、オースティン国防長官が日本側に、サイバー対策を強化しなければ情報共有に支障を来すと伝達しました。にもかかわらず、21年秋にな

れば情報共有に支障を来すと伝達しました。にもかかわらず、21年秋になつても「中国による侵入の深刻さと日本政府の取り組みの遅れを露骨に指摘する」と日本政府の取組みの遅れを露骨に指摘する」と語りました。

同紙によると、中国軍によるネットワーク侵入

の侵入について伝えました。防衛省首脳はこれを懸念し、首相にも警告するように手配しました。

松野博一官房長官は8

日の記者会見で、中国人解放軍のハッカーが最も機密性の高い情報を扱う防衛省のシステムに侵入して、いたとの米紙報道

に関する、「サイバー攻撃により防衛省が保有する秘密情報が漏えいしたとの事実は確認されていない。事柄の性質上、事実関係については答えを差し控える」と語りました。